

041 避難所等の衛生環境を保つ殺菌水の提供

✓ 自社の殺菌水生成装置等を提供し、避難所等の衛生環境の悪化を防ぐ

取組主体	従業員数	想定災害	実施地域
株式会社エイチ・エス・ピー	26名	豪雨等	岡山県

殺菌用水生成装置の開発・製造等を行う株式会社エイチ・エス・ピーは、西日本豪雨災害時に被災地に、殺菌水や装置を無償提供した。

1 取組の特徴（特色、はじめたきっかけ、狙い、工夫した点、苦労した点）

避難所等の衛生環境を保つために殺菌水や装置を提供

- 株式会社エイチ・エス・ピーは、人体への影響が低い弱酸性次亜塩素酸水溶液（殺菌水）を生成する装置の開発・製造・施工等を行っている。
- 平成30年に発生した西日本豪雨では、同社の地元地域でも床上浸水被害等が発生し、同社職員が被災地に訪れた際には、泥にまみれ、悪臭が充満した住宅等が散見された。
- 不衛生な環境下での復旧作業や、避難所内での食中毒・感染症を懸念した同社は、自社が製造する殺菌水やその生成装置を、避難所等へ提供することとした。



衛生環境を保つために活用される殺菌水

使い方等についてもきめ細かくフォロー

- 殺菌水は災害ボランティア作業後の手や長靴の消毒に使用できるほか、噴霧器とともに使用することで避難所の空気清浄や消臭等に使うことができる。一方、紫外線と高温によりその特性を失ってしまうという特徴もあるため、同社では保管条件や使用方法の周知にも注力した。また、チラシやSNSを活用した情報提供を行い、生成装置の設置拠点を定期的に訪問して運用上の問題をヒアリングすることで、より効果的に活用されるよう努めた。
- なお殺菌水については、東日本大震災の際にも山形大学と現地の同社機器の販売店が主体となり、同様の支援を実施しているともに、熊本地震の際にも活用されている。

2 取組の平時における利活用の状況

- 同社は災害対応に向けた製品の開発や、原料や装置の備蓄に平時から取り組んでいる。

3 現状の課題・今後の展開等

- 災害時に備え、停電時でも使用可能な殺菌水生成装置を開発する方針である。

担当者の声 	<p>今後も自社製品で被災地を支えたいと思います</p> <ul style="list-style-type: none"> 殺菌水の提供を SNS や災害支援ネットワークで呼びかけたところ、被災者、支援者、NPO、企業団体等多くの方から要望をいただきました。配達機能がストップしている段階では、支援者の方と連携をとり、被災地内に製品を届けました。 避難所内で感染症が蔓延することなく、被災者の衛生管理に寄与することができたと感じています。
問合せ先	株式会社エイチ・エス・ピー 法人番号:2260001000731 TEL 086-277-0888 FAX 086-274-8639 E-Mail info@hsp-net.co.jp